



虹

ねやがわし 社会福祉協議会だより

皆でのりこえよう コロナに負けない 想いととも

No.152
令和2年8月1日発行



ねやがわし社会福祉協議会だより
虹 No.152 令和2年8月1日発行

発行所/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
編集者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
広報編集委員会

〒572-8566 寝屋川市池田西町24-5市立池の里市民交流センター内
電話/072-838-0400 ◆FAX/072-838-0166
URL/http://www.rey.agawa-shakyo.or.jp

主な記事

- 特集 “コロナに負けない！”地域福祉活動再開への
思いと取り組みについて2~3
- “コロナに負けない！”生活を支えるための支援4
- 社会福祉協議会 令和元年度事業報告と決算5
- 地域のふくしお助けマン！ CSWIについて6
- 社協からのお知らせ7
- 地域のヒト！ 川崎 容子(かわさき よしこ)さん8
(三井校区福祉委員会 委員長)

※表紙の写真は
令和元年度に撮影されたものです

三井校区福祉委員会

令和2年2月にボランティア入門講座基礎I「幸せ呼び込む！笑いヨガ体験」を開催。皆で声を出し手を回しながら部屋中を回っているうちに参加者全員が自然な笑顔となりました。「すっきりしました」「楽しかった」という感想をいただきました。

また、同日3会場で開催しているふれあいサロンでは、介護予防や認知症予防のための健康体操をおこなっています。

Interview

三井校区福祉委員会



かわさき よしこ
川崎 容子さん

インタビュー 地域のヒト！

Vol.18

#三井校区福祉委員会
#委員長
#毎朝の入浴と
午後のティータイムで
リフレッシュ

試行錯誤しながら何度も話し合ってきた

平成27年に自治会長になったことがきっかけで、三井校区福祉委員会の委員長に就任しました。当時は本来の小学校区割りとは違う形でした。三井地区は三井校区福祉委員会として国松緑丘校区の一部とともに活動し、明德地区は明德・宇谷校区福祉委員会として活動していました。平成28年、国松緑丘校区との再編成をし、翌年には明德地区も加わり現在の三井校区福祉委員会が新たにスタートしました。設立に向けて試行錯誤しながら何度も話し合った仲間や、多くの方のご尽力があったから発足できたと感謝しています。

皆さんと、地域の中で支え合う仕組みを

月5回のサロン(同日3会場で開催)では、病院や老人保健施設などの専門家による健康体操が恒例となり、体操終了後はスタッフが頭の体操を行ったりお茶とお菓子で会話を楽しんでいただくなど、毎回趣向を凝らしています。地域の高齢者の誕生日に中学生がバースデーカードを持って訪問する“ハートフルプレゼンター”は定着しており、多くの高齢者に喜ばれています。三井校区の高齢化率は市内で最も高いのですが、元気な高齢者も多く、こういったイベントなどで皆さんの協力を頂きながら、地域の中で支え合う仕組みを模索しています。

今後の抱負

世代間交流を活発にし、誰もが役割・生きがいを持ち、ご近所で助け合い・支えあうことが自然とできる地域にしていきたいです。

編集後記 れんこん畑



国内での移動自粛が全面的に緩和された6月のある日、家族で和歌山的那智勝浦町方面に向かった。初めに「那智滝」を訪れた。鳥居をくぐると、上りと下りの急階段が続き相当厳しかったが、着いた時に見上げた「那智滝」は絶景！

滝見台で荘厳な「那智滝」を見上げてみると、時おり水しぶきが頬をなでてくれ、身も心も清めていただいた気分であった。そして日夜、新型コロナウイルスの対応に忙わつておられる多くの皆さまに感謝申し上げるとともに、各人がマスクの着用や手洗いの励行、「3密」区域を避けることなどに努め、感染が終息するようになければならないと改めて心した次第です。(K・J生)

ホームページ フェイスブック ツイッター インスタグラム



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

寝屋川市社協 検索

特集 “コロナに負けない！”地域福祉 活動再開への思いと取り組みについて

今まで通りの送迎を待っている利用者のために

既存の公共交通機関では移動が困難な高齢者や障害者などを対象に、ボランティアグループ「レインボー」の協力を得て実施している移送サービスは、6月8日から活動を再開しています。

中出 義明さん(右)と内田 正嗣さん(左)からは「活動を休止していたことで、車いすの人や病院に行く人など、待ってはった人も多い」

「再開後は、まだまだ病院に行くために利用する人が多い。今までのように買い物や墓参りなどに利用されるのには時間がかかるかもしれないが、本来は移動困難な人の外出するお手伝いをするた

めに始まった活動。一日でも早く日常に戻れば」また、おふたりは日頃から「利用者からの『助かるわあ』の声がやりがいになっている」と話されています。



グリーンユニフォームをトレードマークに活動中

見守り活動を再開！

子どもたちの登校が再開になった6月15日、楠根校区福祉委員会では見守り活動を再開しました。

訪問したボランティアが「お元気でしたか？」と声をかけると、「来てくれるのを待っていたのよ」と答える高齢者。

「外出自粛で人と話す機会も減ってしまったので、私たちが訪問すると、話しが長くなって…。極

力、短時間での訪問にしていますが、喜ばれてたくさん会話をさせていただきました。再開してよかったです」と楠根校区福祉委員長の川口 敦子さんは話します。



手作りマスクとティッシュボックスを持って訪問する川口 敦子さん(右)



会えなくても支え合おう 「緊急事態宣言」期間中の取り組みについて

電話による見守り安否確認の実施

緊急事態宣言の期間中は、サロン活動をはじめとする地域福祉活動の多くが中止されていました。このような状況から外出や集まる機会、交流などが減少しひとり暮らし高齢者などの心身の衰えや、孤立化がすすむ恐れがありました。4月末～5月6日の期間(各校区の実情に応じて)に校区福祉委員会、民生委員児童委員協議会の協力のもと、ひとり暮らし高齢者などに対して電話による見守り・安否確認を行いました。

対象者	6,677人
協力者数	425人
見守り回数	延べ8,797回

社協かわら版の発行

ひとり暮らし高齢者や要配慮者ら約8,600世帯に向けて、自宅待機中に感じる不安の解消や有益な情報提供を目的に、社協かわら版を発行しました。

3つの困りごと解消法では「座ってできる簡単な体操」や「ハンカチとゴムでつくる手作りマスク」、「自宅でできる除菌液の作り方」を紹介しました。社協かわら版を手にとっていただいた方から感謝の手紙をいただき、少しでも皆様の支えになれたことうれしく思います。

※社協かわら版掲載内容に一部誤りがありました。

(誤)アルコール消毒液

(正)次亜塩素酸ナトリウム液



社協かわら版

何か一步を踏み出そう！

南校区福祉委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響で地域福祉活動を中止していましたが、6月に校区福祉委員会ネットワーク推進調整会議を開催し、今後の活動について話し合いを行いました。

南校区福祉委員長の下田 幾子さんは「中止にするのは簡単！でも楽しみに待っている人がいる。気を付けないといけないこともあるが、どのような形なら実施できるか、どんなことができるだろうか」と会議で投げかけました。下田委員長の「何か一步を踏み出そう！」という思いが、活動再開の工

ンジンとなり、地域ミニデイサービス「コロンブス」は、会食ではなく配食という形で“まずはやってみる”ことを決めました。「もちろん感染症だけでなく、熱中症など心配事は他にもありますが、きっと不安を感じている人がいる。そんな方に安心してもらえるよう、形を変えて、工夫しながらやっていきたい」と話してくれました。



下田 幾子さん

困っている人がいるんやから、中止という考えはなかった

「池の里まちかどなんでも相談所」(※)では、定期的に相談員同士の情報交換や、相談対応についての勉強会を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急事態宣言解除後に「開所するか、中止するか」が議題に上った際、相談員である佐藤 美恵子さんは、「今、世の中は困っている人がたくさんいる。相談所って、困っていることがあるから来るんやろ？なら、今開かんでいつ開かねん。中止という考えはなかった。私たちも頑張らなあかん」と話されます。

新型コロナウイルスの影響で行事などの中止が続くなか、「密集・密接・密閉」を防ぐ対策を立てた上での再開に向けて、ベテラン相談員からのあたたかい一言に、他の相談員も本会職員も、大きく背中を押されました。

(※)

●場所:市立池の里市民交流センター内
いきいき教室

●日時:第1・3水曜日の10時から12時



照れ笑いを浮かべる相談員歴10年の佐藤 美恵子さん



コロナウイルス対策としてオリジナルウエットティッシュを用意

令和元年度 事業報告・決算

マイ防災プランづくり

校区福祉委員や障害者団体協議会の会員などを対象に「マイ防災プラン」づくりを行い、障害種別ごとの問題や共通課題などを明らかにしました。



自らの災害時に備えたマイ防災プランを作成しました

福祉に関わるきっかけづくり

大学生などを対象に「福祉・ボランティアの層と輪を広げる」ことを目的とした「しゃべり場」を実施し、新たに4つのとりくみを企画しました。



ツリープロジェクトではボランティアに対するイメージを紙に書いて共有しました。

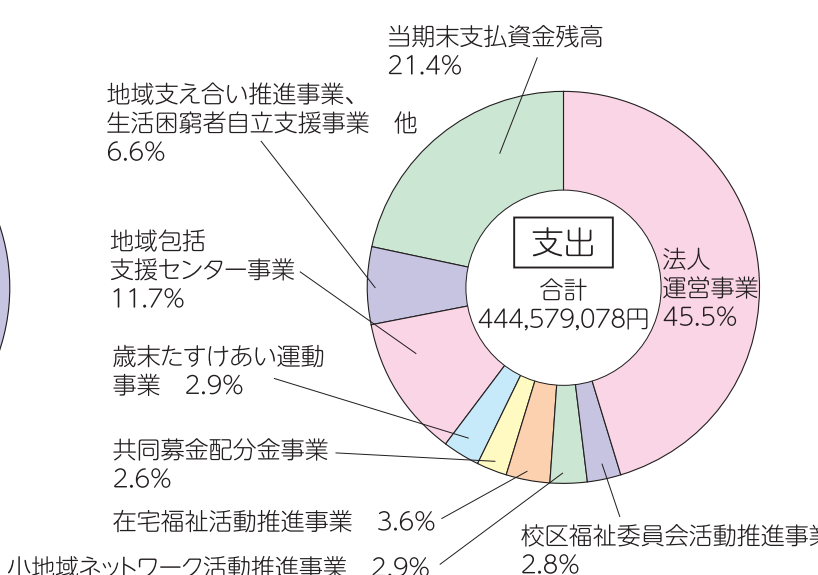
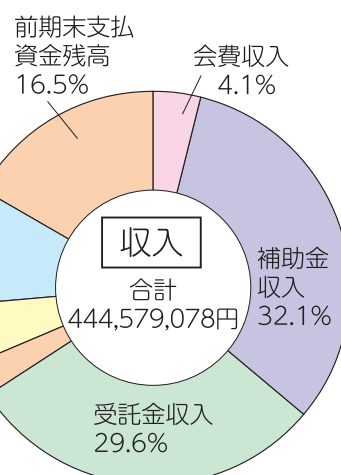
おもな取り組み

見守りアンケートの実施

社会資源の把握と今後の見守り活動を検討するために、校区福祉委員・ボランティアなどを対象に、見守りアンケートを実施しました。

福祉のお仕事座談会の開催

地域貢献委員会との共催で、福祉の仕事に関心のある方や就労支援を利用している方などを対象に開催し、就労につながる支援ができました。



令和元年度事業報告・決算の詳細はホームページをご参照ください

図 総務課・地域福祉課 ☎ 072-838-0400

“コロナに負けない！” 生活を支えるための支援について

〈特例貸付〉

緊急小口資金

一時的に生計の維持が困難となった場合の貸付
●20万円以内
●対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少、失業した方がいる世帯。

総合支援資金(生活支援費)

生活再建までの間の生活費用の貸付
●単身世帯 15万円以内/月額
2人以上世帯 20万円以内/月額
●最大3か月間借入れ可能
●対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業可能などにより生活に困窮している世帯。

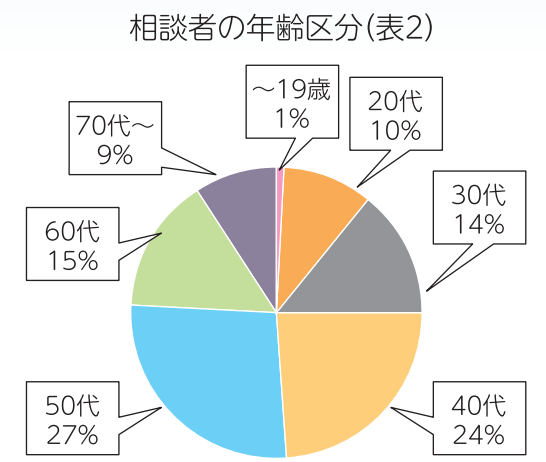
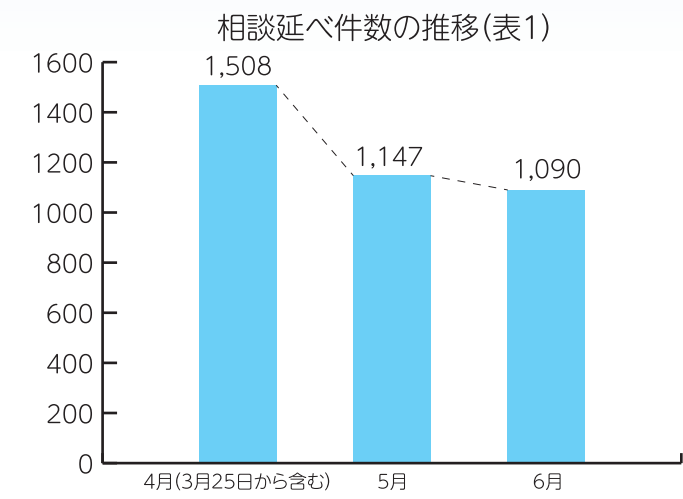
住居確保給付金

お住いの賃貸の家賃相当額(上限あり)を直接、家主などへ寝屋川市が給付 ※原則3か月以内
●対象 2年以内に離職・廃業された方。自己都合によらない収入の減少や、休業などにより収入が減少された方がいる世帯。収入基準、金融資産の基準があります。※持家は給付金の対象となりません。住宅ローンの支払いで悩まれている方は、ローンを組んでいる金融機関などにご相談下さい。

※郵送での申請書の交付・受付にご協力をお願いします。

※郵送での申請書の交付・事前予約による窓口での申請書の受付にご協力をお願いします。

生活を支えるための支援から見えてくるもの



●「働き盛り世代」を直撃(特例貸付)

特例貸付の相談は、国の緊急事態宣言の期間(4月7日~5月21日)の4月から5月にかけて多く(表1)、休業要請を受け、仕事が減った方、飲食店などの休業によって収入が激減した個人事業主、小学校などの休校などにより子どもを自宅のみで過ごすことで仕事を休まないと行けない方などからの相談が寄せられ、1日に100件を超える相談が複数日ありました。相談者の年齢

(表2)は、幅広い世代から相談がありますが、40歳代と50歳代で51%と半数以上を占めており、新型コロナウイルスの影響が「働き盛り世代」に直撃しています。この状況が長期化すると、ますます生活が「困窮」する世帯が増える可能性があります。 ※6月も1,000件を超える相談が寄せられ例年の10倍以上あります。

●昨年度比18倍の申請(住居確保給付金)

休業により減収をされた方、解雇された方々からの相談が多く寄せられ、4月から6月末までに128件の申請がありました。これは昨年度、1年間で申請受付が7件に対してすでに18倍以上の申請件数となっています。

——就労支援を行っています——
本会では、休業中に転職を考えている方、失業された方々からの就労支援の相談にも対応し、ハローワークと連携しながら就労支援を行っています。まずは、ご相談ください。

☎ 生活支援課 ☎ 072-812-2040

※詳しくは本会ホームページで詳細を確認のうえ、お電話で問合せ、相談をお願いします。

社協からのお知らせ

熱中症にならないために

暑さを避け、水分を摂りつつ、マスクや換気を忘れずに…

自宅で簡単に作れる経口補水液の1例

白湯…2リットル
砂糖…大さじ4～5杯
塩…小さじ1杯
※塩分・糖分を制限されている方は、かかりつけ医に相談してください
お好みで、レモンなど柑橘系のフルーツ果汁を加えても良いです。
喉が渇く前のこまめな水分補給を心がけましょう。



図 地域福祉課 ☎072-838-0400

車イス貸出しサービスのご案内

一時的に車イスを必要とされる市民に対しての短期貸出しサービスです

- 貸出できる方
寝屋川市内在住で在宅生活の方
※ 要介護認定で要介護2以上を除く
- 貸出期間
貸出日より6ヶ月以内まで
- 貸出料
10円/1日
※貸出しには条件があります。
詳しくはお問い合わせください。



図 地域福祉課 ☎072-838-0400

令和2年度元気アップ介護予防ポイント事業
介護予防サポーター募集

65歳以上の市民の方が、いつまでも元気で楽しく生活していただけるよう、市内の福祉施設などでサポート活動をされる人を介護予防サポーターとして登録しています。活動するとポイントがもらえ、交付金(一年で一万円が限度)に換えることができます。活動内容は、話し相手や趣味を活かした活動などで資格や経験は不要です。サポーターになるには、1回の登録研修の受講が必要です。

- 対象 寝屋川市在住で65歳以上の方
- 申込 開催日時の7日前まで
- 参加費 無料

介護予防サポーター登録研修日程表	
日程	9月14日(月) 11月9日(月)
時間	10時～12時
場所	保健福祉センター5階 研修室5

図 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

「ふくしのお仕事座談会」
～チョット寄ってん家～開催します

福祉の仕事って何だろう？福祉の仕事を探しているんだけど？このような疑問に高齢・障害・保育の各分野で働いている方がお答えします。仕事の魅力について話を聞かせませんか？

- 日時 令和2年9月11日(金)
 - 場所 桜撫庵(桜木町1-7)
 - 対象 福祉の仕事に興味のある人
福祉の仕事を探している人
 - 定員 5人
 - 少人数で自由な雰囲気のもと、参加者の質問にお答えします。
- 昨年度、この座談会で実際に仕事につながった方がいます。福祉分野でお仕事をお探しの方、是非参加してみませんか？
また、前号で6月12日に開催予定としていた「ふくしのお仕事座談会」は、令和3年2月に日程を変更して開催する予定です。

図 生活支援課 ☎ 072-812-2040

献血だより

400ml献血にご協力下さい

献血は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いしています。
都合により、日時・場所が変更される場合があります。

日程	受付時間	実施予定場所
8月13日(木)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	寝屋川市役所
9月4日(金)	10時～16時30分 (休:12時30分～13時30分)	エスポアール
9月8日(火)	10時～16時30分	アル・プラザ香里園
9月9日(水)	10時～16時30分 (休:12時30分～13時30分)	成田山不動尊 駐車場
10月15日(木)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅 東口前
10月16日(金)	10時～16時30分 (休:13時～14時)	保健福祉センター
10月27日(火)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	コーナン寝屋川 昭栄店

図 北大阪赤十字血液センター
☎ 072-632-4747



令和元年度共同募金 配分額決定

昨年10月に実施された共同募金から、10,031,878円の配分が決定しました。

この配分は本会が進める地域福祉活動費として配分されたもので、ボランティアセンターの広報啓発のための費用や、ふれあいサロンなど小地域での福祉活動をすすめるための活動費、また、広報事業や移送サービス事業、車イス貸出事業などに幅広く活用しています。今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施しますのでご協力をお願いします。

図 総務課 ☎ 072-838-0400

地域のお助けマン! CSW

本会では7人のCSW(社会福祉士)を配置し、相談者の生活上の不安や悩みなどを受け止め、電話相談だけでなく訪問支援も行います。

どんな相談ができるの? ~相談内容例~

Aさんの場合 「障害を抱えているが、ヘルパーには依頼できない部分にお手伝いがほしい。また、自分でもできるボランティア活動があればしたい」

- ① 面談
- ② 気持ちの整理
- ③ 一緒に今後のプランを立てる
- ④ お手伝いしてくれるボランティアとの面談や、自身のボランティア活動の調整

Bさんの場合 「一時的な病気で休職しており、次に収入が入るまでの生活が心配」

- ① 面談
- ② 状況の整理
- ③ 一緒に今後の生活プランを立てる(使える制度などの確認)
- ④ 次の収入日までの生活費や食料の支援

図 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

善意銀行だより

あたたかいご寄附をありがとうございました!♥

(令和2年4月1日～令和2年6月30日) 敬称略

現金の部

預託者氏名
中西 恭三
匿名(5人)

※一般寄附への寄附金合計は38,000円でした。

物品の部

預託者氏名	品名
有限会社 にし尾	精米
寝屋川ロータリークラブ	マスク
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	カップうどん カップスープ
匿名	電気ストーブ
浅野 美代子	消毒液
アカシヤ保育園	非常食用パン
けいはん医療生協	洗濯洗剤
すばる・北斗福祉作業所	精米
ケアハウス	缶詰
ロイヤルライフ・カミダ	缶詰

<お願い>
お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。
ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

寝屋川ロータリークラブが
マスク1万枚を福祉施設に寄贈



寝屋川ロータリークラブ会長 下條 久雄氏(左)と
地域貢献委員会事務局長 田村 和彦氏(右)

5月1日、寝屋川ロータリークラブから寝屋川市社会福祉協議会地域貢献委員会にマスク1万枚の寄附があり、市内の特別養護老人ホームや障害者福祉施設、保育園などを運営する市内46の社会福祉法人に配布されました。

図 生活支援課 ☎ 072-812-2040

<広告>

「終の住処」として、安心できるホーム

元気な方から要介護「5」の方までご入居いただけます。

自信のある医療・看護・
介護のサービスを
提供いたします。



リーズナブルな利用料

- 60歳以上の方
- 要支援・要介護・認知症の方
- 施設入所待ちの方

スタッフ
募集!

寝屋川市立第3中学校南側
☎072-826-6777
お電話いただければ
お迎えにあがります。